

# 秋主要野菜の管理について



## ◎白ネギ

出荷時期が近づきました。

- 止土作業 ⇒ 35cmの高さまで。最後は手で寄せることも必要（ボケ防止）です
- さび病・べと病の予防徹底！病気の発生前の予防から行いましょう

## ○9月中の防除

薬剤名	適用害虫	希釈倍率	使用時期	回数
カスケード乳剤	シロイチモジヨトウ・ネギアザミウマ ハモグリバエ	4000倍	収穫14日前まで	3回以内
オンリーワンフロアブル	さび病・黒斑病	1000倍	収穫14日前まで	3回以内
ロブール水和剤	黒斑病・ボトリチス葉枯症	1000～1500倍	収穫14日前まで	3回以内

## ○10月中の防除

薬剤名	適用害虫	希釈倍率	使用時期	回数
プレオフロアブル	社アザミウマ・シロイチモジヨトウ	1000倍	収穫3日前まで	4回以内
アミスター2070フロアブル	さび病・べと病・黒斑病・葉枯病	2000倍	収穫3日前まで	4回以内
ロブール水和剤	黒斑病・ボトリチス葉枯症	1000～1500倍	収穫14日前まで	3回以内

## ◎広島菜

- 定植後に乾燥が続く場合は活着するまでかん水が必要
- 生育初期、害虫を早期発見し防除を徹底する **防除の際は液肥を混ぜる!!**

薬剤名	倍率	使用時期	使用回数	適用病害虫
フェニックス顆粒水和剤	2000～4000倍	収穫前日	2回以内	コナガ
プレバソンフロアブル5	2000倍	収穫前日	2回以内	コナガ ※長い残効性が期待できる
アニキ乳剤	1000～2000倍	収穫前日	3回以内	ネギジノミルシ・コナガ・ハシモンヨトウ
アフーム乳剤	1000～2000倍	収穫7日前	3回以内	アオムシ・コナガ・ヨトウムシ・ハモグリバエ

- 白斑病対策：発生の要因は肥料切れ（追肥が遅れないように注意）  
⇒予防の徹底・定期的な液肥散布

**※白斑病が発生すると重い外葉を取って出荷となるので収量が大幅に減ります！**

	薬剤名	倍率	使用時期	使用回数
①定植20日頃	ダコニール1000	1000倍	収穫28日前	2回以内
②その2週間後	ロブール水和剤	1000倍	収穫14日前	2回以内

※展着剤（スカッシュ1000倍）、液肥を混用する。

- 追肥を行う場合はNK808（NK2）を4kg/a、定植20日頃とその20日後の2回行う。

## ◎あすっこ

- 圃場の準備の確認 ⇒ アブラナ科連作圃場（ネコブ病が心配な圃場）では  
⇒ミネラルG散布の徹底（pHを高めることでネコブ病発生抑制）  
⇒フロンサイド粉剤 30kg/10a 全面土壌混和

- 定植は根鉢が1cm程度隠れる程度の深さで植える  
（風による活着不良を防ぐため）

1cm程度の深さで植え



- ネキリムシ対策（定植後株元散布）

薬剤名	使用量	使用時期	使用回数
ガードベイトA	3kg/10a	生育初期	3回

- 生育初期10月中は害虫を早期発見し防除を徹底する

薬剤名	倍率	使用時期	使用回数	適用病害虫
アフーム乳剤	1000～2000倍	収穫7日前	2回以内	アオムシ・コナガ・ヨトウムシ
モスピラン顆粒水溶剤	4000倍	収穫14日前	1回以内	アブラムシ

◎キャベツ

まだまだ病害虫の被害が心配な時期です。定期的に防除の徹底を！

薬剤名	倍率	使用時期	使用回数	適用病害虫
ファニックス顆粒水和剤	2000倍	収穫前日	3回以内	アオムシ・コナガ・ヨトウムシ

※ジュリボもしくはプレバソンフロアブル（育苗時散布）の効果は約1ヶ月です。

薬剤名	倍率	使用時期	使用回数	適用病害虫
カスミンボルドー	1000倍	収穫7日前	4回以内	軟腐病・黒腐病
ロブラール水和剤	1000倍	収穫7日前	4回以内	菌核病

◎キヌサヤエンドウ・スナップエンドウの作付けをお願いします。

品目	品種	種まき時期	収穫時期	目標純利益（10a）
キヌサヤエンドウ	東京極早生	11月はじめ	4月下旬から約1ヶ月	560千円
スナップエンドウ	スナック753・ジャッキー	11月はじめ	5月上旬から約1ヶ月	560千円